

**情報処理人材育成用指導書 VII**

システム開発の基礎編

雇用促進事業団  
職業能力開発大学校 研修研究センター

I S S N 1340-2420  
教 材 情 報 資 料 No. 42  
1996

# 情報処理人材育成用指導書 VII

## システム開発の基礎編

雇用促進事業団

職業能力開発大学校 研修研究センター

# 目 次

## は じ め に

I	システム開発とは .....	1
1	システム開発の必要性 .....	1
2	システム開発における適材適所 .....	4

## II システム開発の手順 .....

1	システム開発の工程 .....	7
(1)	開発工程の考え方 .....	7
(2)	レビューの必要性 .....	9
2	調査 .....	11
(1)	環境調査 .....	12
(2)	現状調査 .....	13
(3)	ニーズ調査 .....	16
3	分析 .....	19
(1)	環境調査と現状調査からの分析 .....	19
(2)	ニーズ調査（P Nカード）からの分析 .....	20
(3)	分析結果の統合化 .....	27
4	基本計画 .....	27
(1)	システム化計画 .....	28
(2)	プロジェクト実行計画 .....	31
(3)	要求定義 .....	39
5	外部設計 .....	41
(1)	D F Dを用いた外部設計 .....	47
(2)	画面設計・画面遷移および帳票設計 .....	54
6	内部設計 .....	58
7	プログラム設計 .....	60
8	プログラミング .....	62
(1)	モジュール設計 .....	63
(2)	単体テスト計画 .....	63
(3)	コーディングと単体テスト .....	64

9 テスト	65
(1) 単体テスト	65
(2) 結合テスト	68
(3) システムテスト	68
(4) 運用テスト	69
 III ソフトウェアライフサイクル	 71
1 ウォータフォールモデル	72
2 プロトタイプモデル	73
3 スパイラルモデル	75
4 その他のモデル	76
 IV プログラム設計	 77
1 プログラム構造化設計	77
(1) プログラム設計の重要性	77
(2) プログラム構造化設計の採用	78
2 プログラム設計手順	78
(1) プログラム構造化設計の特徴	78
(2) プログラム構造化設計手順	79
(3) プログラム仕様書作成	82
3 モジュール分割	83
(1) モジュール分割の方針	83
(2) モジュール分割手法	84
4 モジュール構造図作成	89
(1) 最上位モジュール	90
(2) 第1階層モジュール	90
(3) 第2階層モジュール	91
(4) 第n階層モジュール	91
(5) 共通モジュール	91
5 モジュール機能設計	93
(1) モジュール番号	93
(2) モジュール名	93
(3) 機能	93
(4) 呼出しインターフェース	93

(5) 引数	93
(6) モジュール処理概要	93
(7) 特記事項	94
<b>6 モジュール分割の妥当性の検討</b>	<b>95</b>
(1) モジュールのステップ数が大きい	95
(2) モジュール内の機能が多すぎる	95
(3) 共通化できる処理がある	95
(4) モジュール構造図の階層が深い	95
(5) 一つのモジュールから呼び出すモジュールの数が多すぎる	95
<b>7 モジュール詳細設計</b>	<b>96</b>
(1) モジュール設計の目的	96
(2) 基本制御構造	97
(3) 応用制御構造	99
<b>8 ドキュメント化技法</b>	<b>101</b>
(1) 概要	101
(2) フローチャート	101
(3) HIPO	102
(4) HCP	104
(5) DFD	105
<b>V プログラミング</b>	<b>108</b>
<b>1 プログラミングの位置づけ</b>	<b>108</b>
<b>2 テスト設計</b>	<b>108</b>
(1) モジュールテスト設計	109
(2) プログラムテスト設計	114
(3) システムテスト設計	115
<b>3 各テスト設計の順序</b>	<b>116</b>
<b>4 プログラミング言語</b>	<b>116</b>
(1) 汎用プログラミング言語	116
(2) 専用プログラミング言語	122
<b>5 コーディング</b>	<b>123</b>
(1) ネスト	124
(2) ネーミング規制	124
(3) コメント	125

6 コンパイル／デバッグ	125
(1) マシンデバッグ	126
(2) 机上デバッグ	126
7 バージョン管理	126
<b>VI テスト</b>	<b>128</b>
1 テストの種類と目的	128
2 モジュールテスト（単体テスト）	128
(1) 機能テスト	128
(2) 構造テスト	129
3 プログラムテスト（結合テスト）	129
(1) ボトムアップテスト	129
(2) トップダウンテスト	132
(3) ビッグバンテスト	132
4 システムテスト（総合テスト）	135
(1) 性能テスト	135
(2) 負荷テスト	137
(3) 機能確認テスト	137
5 第三者検証と品質管理	138
(1) 第三者検証	138
(2) 品質管理	138
(3) 品質評価	139
(4) バグの成長曲線	140
6 運用テスト	141
(1) 受け入れテスト	141
(2) 導入テスト	142
(3) 実施テスト	142
<b>VII 運用・保守</b>	<b>143</b>
1 運用・保守の位置づけ	143
2 運用	143
3 保守体制	143
(1) 保守管理者	144
(2) 保守担当者	144
(3) 変更管理者	145

(4) 構成管理者	145
4 保守作業	145
(1) 修正	145
(2) 変更	145
(3) 改良	146
VIII システム開発管理	147
1 概要	147
2 システム開発体制	147
(1) プロジェクトリーダー	147
(2) サブリーダー	147
(3) メンバー	147
3 進捗管理	148
(1) 作業報告書	148
(2) ガントチャート	149
(3) 進捗会議	149
参考文献	150
索引	151